学校番号	303

平成 31 年度　音楽科

教科	音楽	科目	演奏研究Ⅱ （管弦打）	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の音楽２（教育芸術社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、管弦打楽器専攻の生徒が集まって授業を行います。
・教科書と筆記用具、プリントを綴じるためのファイルを必ず持参してください。
・この授業では、専攻実技や音楽理論、音楽史などで学んだことを基礎として、将来にプロの音楽家として必要とされる総合的な力を身につけます。

総合的な力とは（２年次）

① 楽曲を分析し、調べたことを言葉によりまとめる力
＝プログラムノートや楽曲についての分析レポートを自分で作成できる力

② 演奏会を企画・実演する力＝舞台マナーの向上、演奏会の成り立ちを学ぶ、自主演奏会の企画・運営・実践、演奏発表の振り返りと分析を行う力

③ 楽器の特徴を踏まえた演奏解釈、アンサンブル能力を身につける

④ 和楽器の演奏技術と音楽理論で培った創作を応用し、ハワイのプナホウ高校と国際交流を行い、プナホウ高校の卒業ソングを創作しテレビ会議を通じて海を越えたコンサートを実施する。（約６時間）

2　学習の到達目標

音楽作品についての演奏研究を通して、演奏における客観性と多様性を理解し、音楽の様式を尊重して演奏する力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への 関心・意欲・態度	b:音楽表現の 創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽文化を尊重し、主体的、創造的に音楽の学習を行い、演奏発表の場では演奏を共有し、互いに評価しあったりする活動に積極的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの動きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図を持っている。生徒同士の演奏共有を行い、互いの創意工夫について言葉で評価できる。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技術を身につけ、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、価値を判断し、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わい、言葉によって言い表すことができる。
評価方法	観察 ワークシート	観察 演奏聴取 ワークシート	観察 演奏聴取	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	アンサンブル経験をつむ	①グループ・アンサンブルⅡ Ⅰで行なった時と違うグループで選曲し自分たちで編曲、練習し発表 ②クラッピング・アンサンブルの創作・演奏 アンサンブルの楽曲を創作し演奏することを通して各パートの役割を考えるとともにリズムに対する感覚とアンサンブルの力を磨く ③試験曲の紹介Ⅱ 実技試験で演奏する楽曲に関するレポートを作成し発表する	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○	a:アンサンブルについて興味を持ち発表された内容に対して互いに評価しあったりする活動を積極的に行っている b:常に表現を工夫し、表現意図を持って演奏することができている c:音楽表現に必要な技術、奏法、またステージマナーなどの姿勢も身につけている d:演奏者による表現の特徴などに関心を持ち、鑑賞に主体的に取り組もうとしている	観察 ワークシート 演奏聴取
後期	コンサートについて考察し企画する	④定期演奏会の振り返り 学外で行われた定期演奏会を終えて総括し次回への課題を考察する。 ⑥声楽・アンサンブルの創作・演奏 アンサンブルの楽曲を創作し演奏することを通して各パートの役割を考えるとともにアンサンブルの力を磨く ⑦ミニ・コンサートⅡ 自分たちで企画・運営してコンサートを開いてみる ⑧プナホウ高校との海を越えたコンサート ・テレビ会議を通じた交流を行い、卒業ソングにふさわしい歌詞について相談する ・歌詞のイメージに合った曲に和楽器を使って創作する ・テレビ会議を通じて創作した曲で演奏会を行う	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○	a:アンサンブルやコンサートについて興味を持ち主体的に取り組もうとしている b:常に表現を工夫し、表現意図を持って演奏することができている c:音楽表現に必要な技術、奏法、またステージマナーなどの姿勢も身につけている d:演奏者による表現の特徴などに関心を持ち、鑑賞に主体的に取り組もうとしている	観察 ワークシート 演奏聴取